

⑤ 知的障害者の心理

課題 家族への心理的アプローチを考える前に、家族を支援する時に配慮すべきことについて、家族支援の基本、インフォーマルな支援とフォーマルな支援についてまとめると共に、家族を支援する時に配慮すべきこととして、あなたが考え、実行した支援の実際を具体的に述べなさい。

障害のある子どもが生まれた時、その家族はまずショックを受ける。すぐには現実を受け入れられず、障害のことを医師や専門家からはっきりと告げられた後で気持ちの落ち込みや喪失感を感じ、気持ちが落ち着いてくると怒りや罪悪感といった感情が起る。その後、「障害は治せるのではないか、軽減できる方法があるのではないかと考え、方法を探し、障害について分かってくると徐々に受け入れられるようになるのである。そうした家族の気持ちも考慮した上で社会が障害というものを受け入れ、支援態勢を整えることが大切である。家族支援を行うにあたり、家族の独自のあり方を尊重し、その家族のストレンクスを探り、十分な情報を提供するなどの配慮を行う必要がある。

家族支援の基本は、3項目挙げられる。①「家族を中心にいた支援」家族のニーズを満たす支援を行いながら、家族が持っている力を強めることである。支援者は家族が必要とする情報を提供し、相談に応ずる。②「子どもを含めた家族一人ひとりのメンバーに向けた支援」支援者は障害をもつ本人だけでなく、親や兄弟といった家族の視点を併せ持ち、支援することが重要である。③「家族のニーズに対応する関係機関の連携が重要」専門家との連携によって家族が持つ様々なニーズを充足していく。

インフォーマルな支援には、家族間の支援や

地域社会の人々などによる支援がある。地域の中で家族が孤立しないよう人々に障害について正しく理解してもらえよう支援も必要とされる。フォーマルな支援は相談支援、医療支援など様々なものがあるが、家族に直接関係する公的サービスとしては、レスパイトサービスが典型的である。これは、家族が一時的に障害児者の介護から解放されることによって休息を取り、再び世話を続けられるようにするものである。日本では「ショートステイ」のことを指して使われることが多い。

私が勤務する事業所の利用者Kさん(20歳・女性)は知的障害の他にもチャージ症候群という難病を抱え、それにより視聴覚、口蓋裂などいくつかの障害をもち、発語はない。イライラしやすく、周囲の他害行動によりその感情を訴える。毎朝、カーテンを引きはがす、引っかく、叩く等の行動障害があり、母親は心身共に疲労していた。母親はショートステイ先を見つけ、少しの間距離を置くことを強く希望していたが見つからなかった。しかし、母親の本当のニーズは何であるのかを見極めるため、以下の支援を行った。①『支援に携わる関係機関に呼びかけ、ケース会議をひらく』市の障害福祉課、相談支援センター、発達障害者支援センター、母親、支援員で話したところ、「ヘルパーを増やしてみる」、「現状では受け入れ先を見つけることは困難であり、まずは行動障

害を軽減する必要がある」という結論に至った。このように多くの人が、Kさんについて親身になって話し合ったことで、将来を悲観していた母親の気持ちは幾分救われたようだった。②『当施設かかりつけの医院(精神科)の受診』その特性を配慮して有効な支援をみつけるために専門医師の見解を仰いだ。精神科への受診には抵抗があったため、支援員が付き添い、成育歴・家庭や施設での様子から、本人の障害の傾向、更にその特性に対し、どう接するのが良いかのアドバイスを受けた。また、母親の希望により、こだわりを軽減する薬が処方された。周囲、社会の考えや言動の影響も受け、真面目で完璧主義な性格の母親は、子どもの障害を自分のせいにして苦しんできたが、医師からのアドバイスにより、これまでとは違った視点から子どもの障害を考えられるようになったようである。本人はぐっすり眠れるようになり、行動障害は軽減した。ショートステイ先も見つかり、Kさんが家で落ち着いていることで、母親自身穏やかに過ごすことができる。以上、2つの支援を行ったことで、結果として母親の当初のニーズとは異なる本来

のニーズが見つかり、現在に繋がったのである。

家族は障害を持つ子どもが生まれた時すぐには受け入れられず様々な思いを抱き、徐々に「障害」を受容できるようになる。我々支援員は家族の気持ちを受け止め、言葉の裏に隠された本当のニーズを探り、支援していくことが必要となる。家族の気持ちが落ち込んでいるときに、それぞれの性格や考え等を思い、気持ちが前向きになるよう支援していかなければならない。家族のニーズを把握し、それを満たすための情報をとり入れ、提供する必要がある。また、障害のある人を支えている家族への支援を行うことは障害をもつ人への支援にも繋がり、生活を良い方向へ変えることにもなるのである。

講評：

テキストを参考にインフォーマルな支援とフォーマルな支援を明確にしながら、家族への支援の基本についてまとめられています。実践事例では、起承転結のしっかりした内容で、さらに考察を加える必要はありますが、誠実なご家族への支援の実践がよくわかります。とても優れたレポートです。